

## Pola-R-CHP 療法を受けた

### びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の患者さんへ

#### 1. 研究課題

CD5 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対する Pola-R-CHP 療法の後方視的研究

#### 2. 対象となる患者さん

2022 年 9 月～2026 年 3 月まで島根大学医学部附属病院 血液内科（当科）で Pola-R-CHP 療法を 1 コース以上受けられた CD5 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の患者さん

#### 3. 研究期間

2026 年 09 月 30 日から 2028 年 3 月 31 日まで

#### 4. 研究の目的

CD5 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対しては、従来の標準的な治療法である R-CHOP では治療成績が不良であることが知られています。2022 年より R-CHOP よりも優れた効果が報告された Pola-R-CHP 療法が実施可能となり、当科でも日常的に実施していますが、CD5 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対しても Pola-R-CHP 療法が有効であるかどうかは情報がありません。本研究では、過去に当科で Pola-R-CHP 療法を受けた患者さんのデータを調査し、どれくらい効果があったのか、副作用は多くないかを明らかにすることで、CD5 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対する適切な治療法を提案することを目的としています。

#### 5. 研究の方法

電子カルテに記録されている患者さんの診療情報を集めて解析します。研究のために患者さんに新たに検査を実施したり、受診をしていただくことはありません。

##### ○利用する情報：

患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、診断名、合併症の有無、病期、B 症状の有無、バルキー病変の有無、浸潤臓器、全身状態（パフォーマンスステータス）など

治療内容：Pola-R-CHP の投与日・投与量、併用治療（中枢神経浸潤予防）、支持療法（G-CSF 使用など）の内容、再発・増悪後の治療法

検査データ：血液検査（血算、肝・腎機能など）、治療後の画像所見（PET-CT、CT、MRI など）

副作用の有無：骨髄抑制、感染症、末梢神経障害、消化器毒性（悪心・嘔吐、便通異常）、などの発生状況とその処置

治療経過：治療効果、その後の経過など

## 6. 情報の管理

収集したデータは、島根大学医学部附属病院血液内科内の外部から容易にアクセスできないPCに保管します。

## 7. 個人情報の取り扱い

研究に関わる情報は個人が特定できない形式により管理します。

研究に関するデータ及び関連資料は、研究結果の最終報告を行ってから10年間は保管し、その後保管の必要性がなくなった時点で研究対象者の識別が不可能な状態で廃棄します。

## 8. 研究組織

島根大学医学部附属病院 血液内科

## 9. お問い合わせ先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身またはご家族の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問がある方は下記の連絡先までご連絡ください。ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人からお申し出をいただければ利用停止をすることができます。なお、利用停止のお申し出は2027年3月までをお願いします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

研究責任者：島根大学医学部附属病院 血液内科 高橋 勉

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話：0853-20-2308